



2023年5月期 決算説明資料
(2022年6月1日～2023年5月31日)

2023年7月13日
小津産業株式会社
証券コード7487



1. 2023年5月期 決算概要

2

2. 各事業分野の主要動向

7

3. 2024年5月 業績見通し、中期経営計画取組み状況

17

4. 参考資料

22



1. 2023年5月期 決算概要



業績のポイント

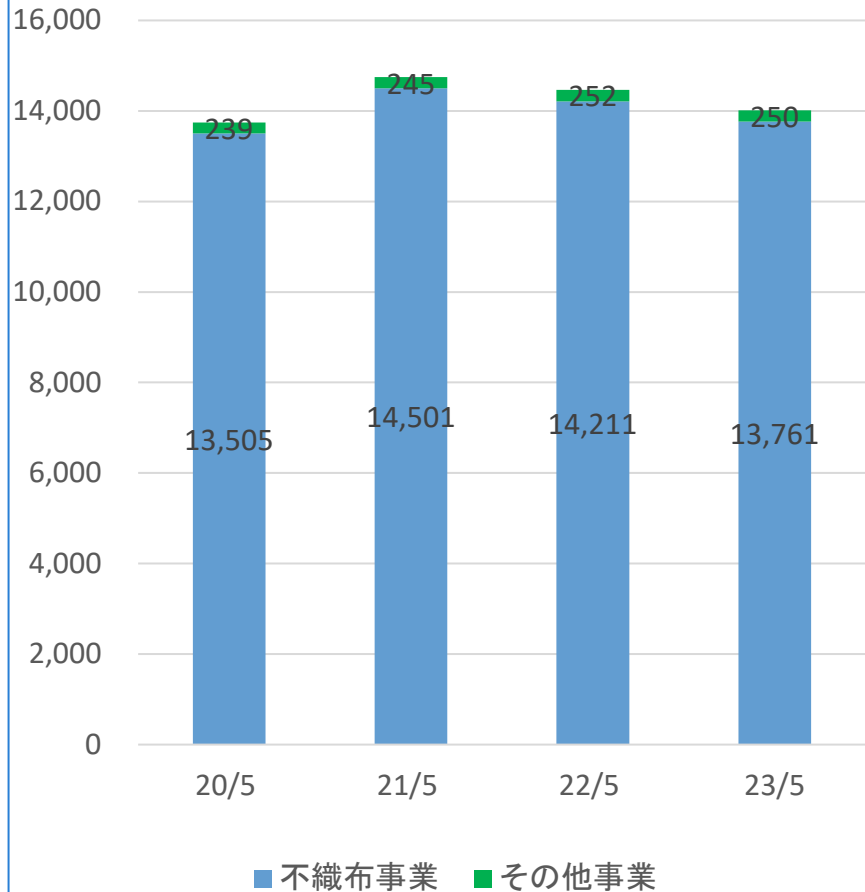
- 除染関連分野において大きな販売実績がなかったこと、マスク需要の減退等から前年同期に比べ、減収となった。
- 資源価格の高騰等により仕入コストの上昇圧力が続くも、迅速な対応による収益確保に注力、影響を低減した。
- 営業活動の強化等に戦略的に経費を充当したこと等から、前年同期に比べ、減益となった。

(百万円)	22/5期		23/5期		前年比
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
売上高	10,553	100.0%	10,368	100.0%	△184
売上総利益	3,209	30.4%	3,143	30.3%	△66
販売費及び一般管理費	2,604	24.6%	2,684	25.8%	+79
営業利益	604	5.7%	458	4.4%	△145
経常利益	707	6.7%	590	5.7%	△117
親会社株主に帰属する 当期純利益	557	5.2%	383	3.7%	△173

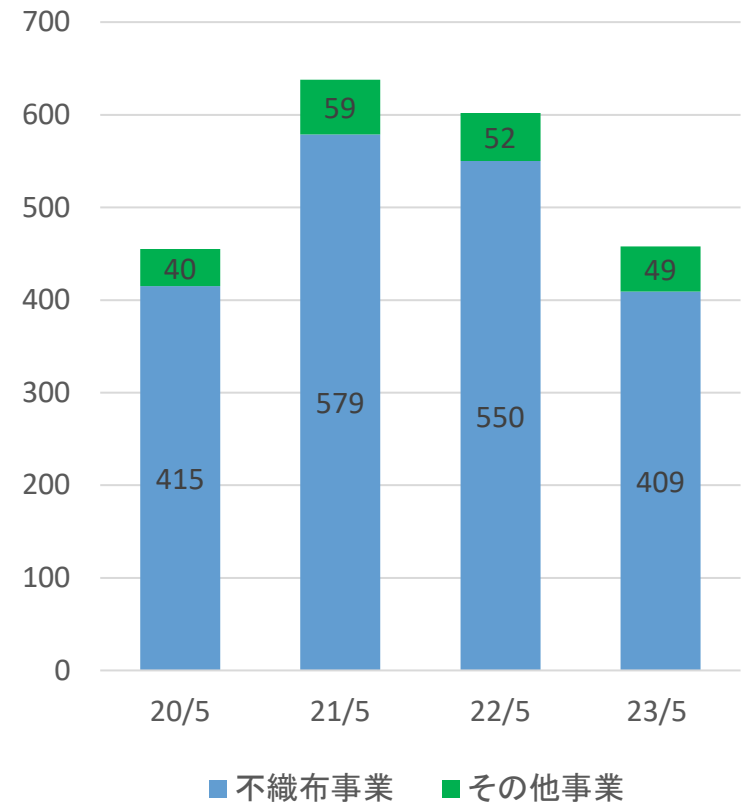


不織布事業+その他事業の業績推移

セグメント売上高



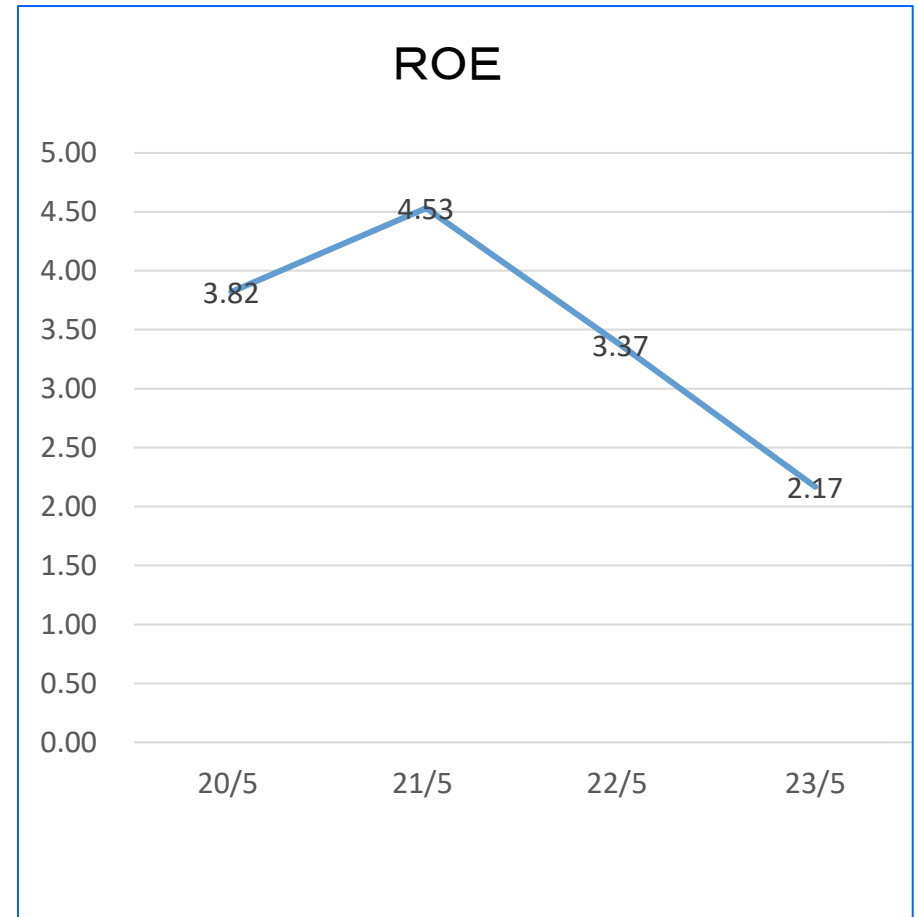
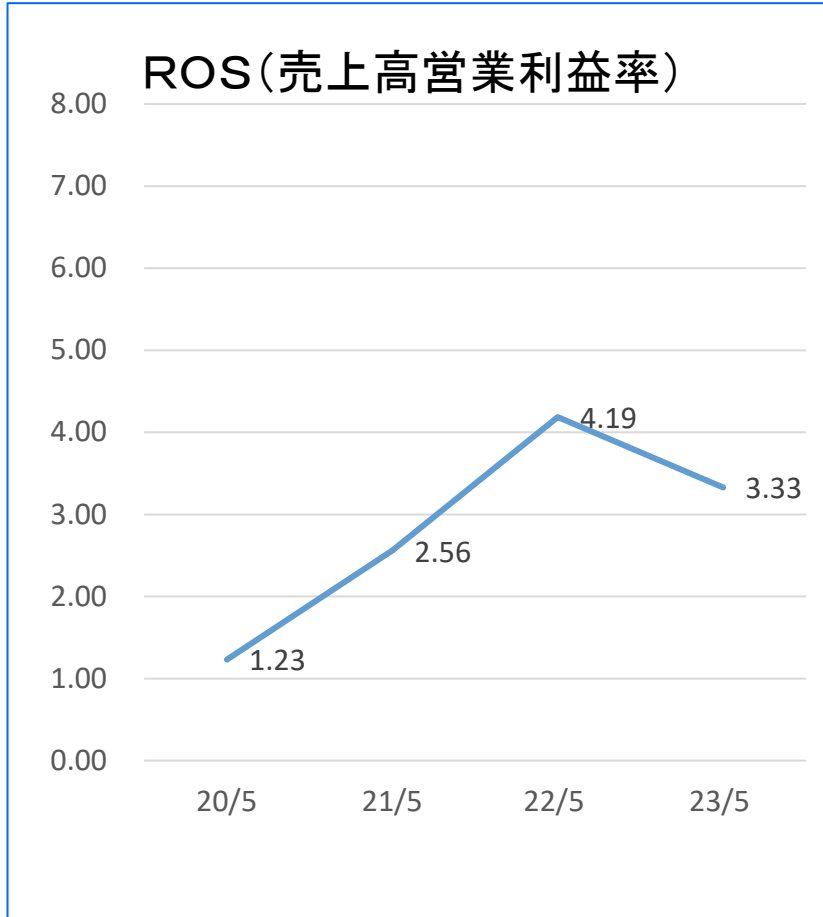
セグメント利益



※会計基準の変更による影響を除外するため、22/5期および、23/5期の売上高は旧会計基準を適用。



経営指標の推移



※ROSの算出にあたっては、会計基準の変更による影響を除外するため、22年5月期および、23年5月期の売上高は旧会計基準を適用。

- 情報収集を強化し、新規事業探索活動を推進。収益力を強化させ、ROS・ROEの向上を目指す。



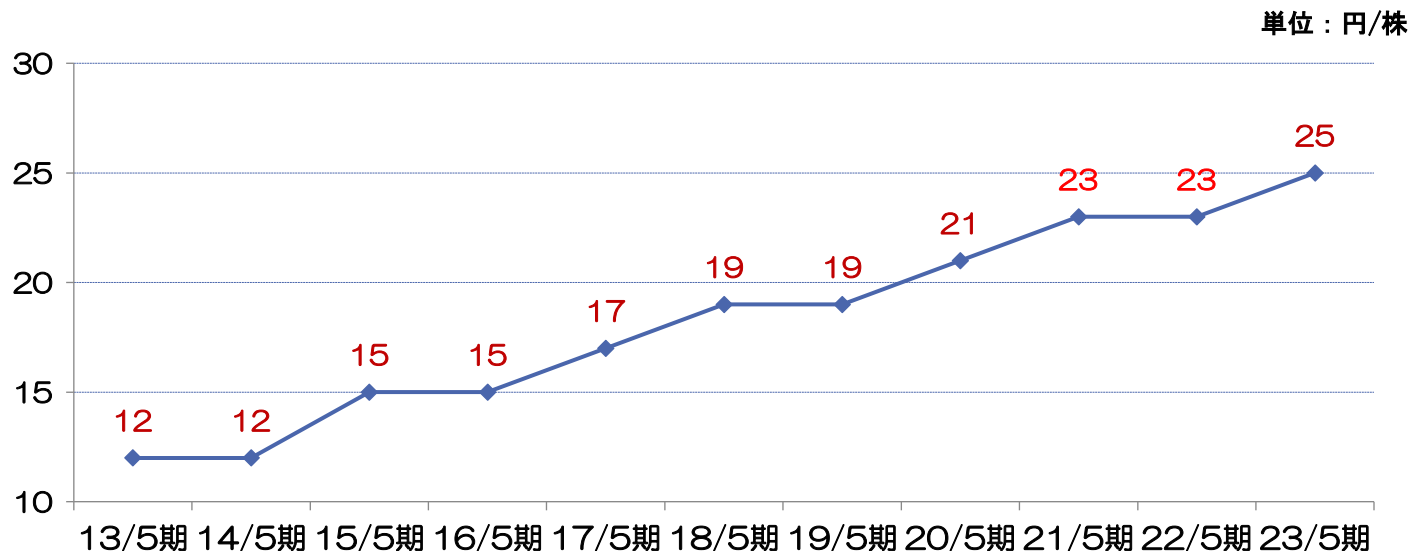
株主還元方針

株主さまに対して、長期的に安定した利益還元を行うことを基本方針としつつ、合わせて当社グループの企業体質の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の確保を総合的に勘案し、株主還元を行います。

加えて、株主さまへの利益還元を充実するため、業績に多大な影響を与える事象の発生がないかぎり減配は行わず、増配を目指して業績向上に努めます。

上記の方針のもと、2023年5月期は、一株あたり25円の配当を予定しております。

【配当金推移】





2. 各事業分野の主要動向

不織布事業(分野)		事業の概要
エレクトロニクス分野		半導体、電子部品、航空宇宙、製薬、食品工場等の製造現場で使用される不織布ワイパーの販売および企画。
メディカル分野		病院・介護施設で使用される不織布ガーゼ・マスク、除菌ウェットシート、感染対策製品等を販売。
コスメティック分野		国内外の大手化粧品メーカーのお客様ブランドの商品を製造販売。機能性・安全性・エコを兼ね備える素材を日本やアジア地域で販売。
除染関連分野		放射性セシウム吸着シート「五大力」。 電力会社に安全対策用途で販売。
小津(上海)貿易有限公司		中国における販売・生産・購買の拠点。 中国にてエレクトロニクス分野、コスメティック分野等の製品を販売。
ディプロ		小津グループの製造拠点。 陽圧管理により、化粧品や医薬部外品等の高付加価値製品をクリーンな環境で生産。
日本プラントシーダー		野菜の種子をテープ状の水溶性フィルムや生分解不織布に封入し専用機械で播種する「シーダー農法」普及を推進。
その他事業		事業の概要
除菌関連事業 (エンビロテックジャパン)		食品添加物として過酢酸製剤を販売(米国FDA認証、2016年厚労省認可)。 食品表面の殺菌サニテーション用途を中心に拡販。
不動産賃貸業		不動産賃貸事業を営む。



エレクトロニクス分野

事業の概要

半導体、電子部品、航空宇宙、製薬、食品工場等の製造現場で使用される不織布ワイパーの販売および企画。

売上構成比率

約35% ※2023年5月期実績ベース。

2023年5月期実績

- ・ テレワーク需要の減退、中国景気の混乱、半導体不足の影響から販売が伸び悩む。
- ・ 円安の恩恵をうけるも、下期以降海外工場稼働率が低下。
- ・ 前期比売上高、利益面とも微減。

今後の取り組み

- ・ 自動車のEV化・自動運転化を見据え、車載用電子部品、燃料電池分野へのアプローチを強化。
- ・ 食品分野でのシェア拡大に注力。
- ・ 海外での製品ラインナップ拡充による新規販売先の開拓推進。

【取扱製品例】

「ダスパー®」



「ベンコット™」



※「ベンコット™」は旭化成の登録商標です。



メディカル分野

事業の概要

病院・介護施設で使用される不織布ガーゼ・マスク、除菌ウェットシート、感染対策製品等を販売。

売上構成比率

約20% ※連結 2023年5月期実績ベース

2023年5月期実績

- ・新型コロナウイルス感染症対策の衛生材料は堅調推移。
- ・他方、マスク需要が減少。前期比、売上高利益面とも微減。

今後の取り組み

- ・独自製品の拡販推進。
- ・お客さまニーズを的確に捉えた迅速な提案による売上増強と新規販路の拡大。
- ・環境対応、品質・価格面での差別化によるマスク販路の拡大。

【取扱製品例】

「ZEST N95マスク」



「ドレープ」



「ロールシート(防水シート)」





コスメティック分野

事業の概要

国内外の大手化粧品メーカーのお客様ブランドの商品を製造販売。
機能性・安全性・エコを兼ね備える素材を日本やアジア地域で販売。

売上構成比率

約10% ※連結 2023年5月期業績ベース

2023年5月期実績

- ・ 中国でのフェイスマスク需要が大きく減退し東アジア向け販売が減少。国内販売も伸び悩む。
- ・ 売上高、利益面とも前期を下回る。

今後の取り組み

- ・ ディプロの製造機能も活用、新商品の創造を加速。
- ・ コスメ先進国の韓国の最先端情報収集にも注力し、国内外での新規販売先の獲得を推進。

【取扱製品例】

「あぶらとり紙」



「セルセル®(コットンパフ)」



「酒粕マスク(フェイスマスク)」





除染関連分野

事業の概要

放射性セシウム吸着シート「五大力」。
電力会社に安全対策用途で販売。

売上構成比率

次の導入に向けた準備期間につき少額。 ※連結 2023年5月期業績ベース

2023年5月期実績

- ・ 本事業年度は次の導入に向けた準備期間。
- ・ 今期の採用実績が少なく、売上高、利益面とも前期を下回る。

今後の取り組み



- ・ 電力会社等への提案活動強化。
- ・ 産学連携による用途開発の推進。
- ・ 電力会社に対する消耗材の開発・拡販。

【取扱製品例】

「五大力」



東京大学 生産技術研究所HP より引用
<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/industry/collaborate/>

 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO	 小津産業株式会社
	平成 24 年 11 月 21 日
報道関係者 各位	東京大学生産技術研究所 小津産業株式会社
東京大学生産技術研究所共同記者会見開催のお知らせ 「低コストな除染材の大量供給が可能に」 ー放射性セシウム除染布、量産工程を確立ー	
1. 発表日時： 平成 24 年 11 月 27 日（火）15:00～16:00（受付開始 14:30）	
2. 発表場所： 東京大学生産技術研究所 総合研究実験棟 An 棟 3F 大会議室（An301、302） 〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1 駒場リサーチキャンパス http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html （参照）	



事業の概要

中国における販売・生産・購買の拠点。
中国にてエレクトロニクス分野、コスメティック分野等の製品を販売。

売上構成比率

約5% ※連結 2023年5月期業績ベース

2023年5月期実績

- ・ 中国のゼロコロナ政策の影響はあるものの、主にエレクトロニクス分野の需要が堅調推移。
- ・ 前期比売上高は横ばい、利益面は増加。

今後の取り組み

- ・ 中国の工場稼働率が弱含むなか、景気変動の影響を受けにくい製薬メーカー向け販売に注力。
- ・ 製品ラインナップの拡充推進。
- ・ 小津グループの購買拠点としての機能強化を一層推進。

事業の概要

小津グループの製造拠点。
陽圧管理により、化粧品や医薬部外品等の高付加価値製品をクリーンな環境で生産。

売上構成比率

約15% ※連結 2023年5月期業績ベース

2023年5月期実績

- ・ 前年の新型コロナウイルス感染症拡大による需要増の反動減より徐々に回復。
- ・ 売上高、利益面とも前期を上回る。

今後の取り組み

- ・ 小津産業との連携強化。既存顧客の製品ラインナップの拡充、新規顧客の獲得推進。
- ・ 独自ブランド「ケアウィル」の拡販。
- ・ 高機能商品の開発推進。生産性の一層の向上。

【取扱製品例等】



「高濃度除菌ウエットシート」



「ケアウィル®(除菌ウエットシート)」



事業の概要

野菜の種子をテープ状の水溶性フィルムや生分解不織布に封入し専用機械で播種する「シーダー農法」普及を推進。

売上構成比率

約10% ※連結 2023年5月期業績ベース

2023年5月期実績

- ・ 国内販売、海外販売とも伸び悩む。
- ・ 前年同期比売上高、利益面とも減少。

今後の取り組み

- ・ シーダー農法対象作物の拡大と拡販。
- ・ 拠点の統廃合による営業戦力の再配置と合理化の推進。

【取扱製品例等】

「あけマルくん®）」



「シーダーテープ®）」



「東北営業所」





事業の概要

食品添加物として過酢酸製剤を販売（米国FDA認証、2016年厚労省認可）。
食品表面の殺菌やサニテーション用途を中心に拡販。

売上構成比率

少額 拡販のための取組み強化 ※連結 2023年5月期業績ベース

2023年5月期実績

- ・ 過酢酸製剤の新規採用先が徐々に増加。
- ・ 前年同期比売上高、利益面とも増加。

今後の取り組み

- ・ グループ営業力を活用した販促活動の強化・推進。
- ・ 過酢酸製剤の認知度向上のための啓蒙活動の継続・強化。

【取扱製品例等】



※過酢酸製剤噴霧使用例



※泡除菌剤パーサンフォーム使用例

「パーサン®(過酢酸製剤)」





2. 2024年5月期 業績予想 中期経営計画取組み状況



業績予想概略

感染対策製品の需要減や東アジアのコスメ市場の変化等により減収の見込み。
収益性の高い製品の販売および、メリハリの利いた経費使用により営業利益は2023年5月期水準を確保の見込み。

売上高: 10,000百万円 前期比▲368百万円

■ 収益性の高い製品の販売。的確な販売機会の捕捉等推進。

営業利益: 470百万円 前期比+12百万円

■ 営業力強化等に予算充当。戦略性を優先した予算運営を実施。

販売費及び一般管理費: 前期比+112百万円

(百万円)	中期経営計画	23/5期		24/5月期		前期比
	計画値	実績	構成比	予想	構成比	増減額
売上高	17,000	10,368	100.0%	10,000	100.0%	△368
営業利益	1,400	458	4.4%	470	4.7%	12
経常利益		590	5.6%	550	5.5%	△40
親会社株主に 帰属する当期 純利益		383	3.7%	380	3.8%	△3

※中期経営計画の売上高計画は収益認識基準適用前の数値。

24年5月期予想 売上高の収益認識基準適用前の数値は、14,000百万円。



中期経営計画2024 : Leap into the Innovation

「紙と不織布」の技術力を基盤とした「価値創造企業」へ

中期経営計画2021

主要戦略と

具体的な成果

① 不織布加工機能の強化・拡充

⇒アズフィットの株式売却、
ディプロ新工場稼働
フェイシャルマスク設備導入

② 産学及び他社との連携による 事業分野の拡張

⇒過酢酸・除染布・除菌の新事業推進
技術開発部設立(新規事業)

③ 経営基盤の更なる強化

④ グローバル展開の推進

⑤ 働き方改革の推進

⇒人事制度改革・海外ASEAN拠点再編

中期経営計画2024

主要戦略と

目指す事業像

① 製造基盤の強化

⇒高度な開発機能を持つ生産拠点の確立

② 海外展開の拡充

⇒販売・購買・生産の機能を考慮し海外拠点を再構築

③ 新規事業の確立

⇒次世代の事業の柱となる事業の構築

④ グループ経営基盤の強化

⇒グループ力を結集した価値創造企業へ



中間総括

- **新型コロナウイルス感染症の拡大長期化**
経済活動制約の長期化により海外展開をはじめ様々な分野で計画の遅延が発生。
- **資源価格、原材料価格の高騰**
仕入コスト等の上昇が継続。収益の圧迫要因に。
- **見通しの見誤り**
原発再稼働の遅れ、安価な外国製WET製品の国内への大量流入、新規業者参入によるマスク製品の過当競争の発生等。
⇒販売計画、収益計画に大幅な遅延発生。
- **新規事業の探索(M&A、業務提携・資本提携)の遅れ**
鋭意取り組むも具現化までには至らず。



厳しい事業環境により中期経営計画の最終年度の取組みを見直し。



取組み骨子

■ 売上増強への取組み

重点販売製品(ディプロ製品、過酢酸製剤)の拡販推進。
電力会社等への提案活動継続と用途開発推進による除染布販売。
得意先とのコミュニケーションの一層の強化。
⇒的確な販売機会の捕捉。ニーズ対応による製品ラインナップの拡充(ものづくり)。

■ 外部環境変化への迅速な対応

原材料価格の高止まり等が継続。
⇒迅速かつ的確な対応を引続き実施し、収益を確保。

■ 海外展開の再構築

販売・製造・購買の機能拡充を目的に、海外販売拠点、海外加工場の再構築検討に着手。



3. 參考資料

2023年5月期 連結貸借対照表



(百万円)	22/5期 5月末	23/5期 5月末	増減額
流動資産	12,183	12,586	402
固定資産	10,364	12,043	1,679
総資産	22,548	24,630	2,081
流動負債	3,565	3,573	7
固定負債	2,433	3,035	602
負債合計	5,999	6,609	609
純資産	16,549	18,020	1,471
自己資本 比率	73.3%	73.1%	△0.2%

主な増減要因

■ 資産	
現預金	+410
投資有価証券	+1,836
■ 負債	
支払手形及び買掛金	+61
未払法人税等	△54
繰延税金負債	+601
■ 純資産	
その他有価証券評価差額金	+1,262
利益剰余金	+190



(百万円)	22/5期	23/5期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	893	815	△78
投資活動による キャッシュ・フロー	△211	△223	△12
財務活動による キャッシュ・フロー	△246	△192	53
現金及び現金同 等物に係る換算 差額	22	11	△10
現金及び現金同 等物の増減額	457	410	△47
現金及び現金同 等物の期首残高	6,616	7,073	457
現金及び現金同 等物の四半期末 残高	7,073	7,483	410

キャッシュ・フローの状況

■ 営業キャッシュ・フロー (2023年5月期の獲得)	
税金等調整前当期純利益	+596
減価償却費	+386
法人税等の支払額	△189
■ 投資キャッシュ・フロー (2023年5月期の支出)	
有形固定資産の取得	+223
■ 財務キャッシュ・フロー (2023年5月期の支出)	
配当金の支払	△192

小津グループ概要

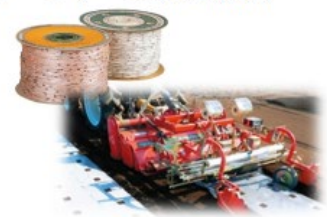
- 1653年(承応2年)創業の和紙問屋を起源とする「紙と不織布」の製造商社。
- 現在では、エレクトロニクス・クリーン分野、メディカル分野、コスメティック分野、コンシューマー分野などを展開。
- 機能性不織布製品の企画開発から製造・販売までをメインとした幅広いサービスを提供。

過酢酸系の除菌剤販売
(除菌・殺菌)



エンビロテック
ジャパン(株)

アグリ分野
(シーダテープ製造販売)



日本プラント
シーダー(株)

小津グループ

オツテクノ(株)
・
(株)旭小津

(株)ディプロ
・
パンレックス(株)

小津産業(株)



不織布、紙製品の加工



消毒・除菌WET、
フェイシャルシート等の製造販売

不織布、
紙製品の販売





小津産業会社概要

会社名	小津産業株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋本町3-6-2
創業	1653年(承応2年)
設立	1939年(昭和14年)12月6日
資本金	13億2,221万円
証券コード	東証プライム 市場 7487
事業内容	不織布(エレクトロニクス用、メディカル用 コスメティック用、産業資材用) 洋紙・紙製品等の 国内販売・加工、輸出入
従業員数	連結:259名 単体:97名(2023年5月31日現在)

役員

代表取締役社長執行役員	今枝 英治
代表取締役副社長執行役員	河田 邦雄
取締役 兼 上席執行役員	村尾 茂
取締役 兼 上席執行役員	三崎 剛志
社外取締役	穴田 信次
社外取締役	山下 俊史
社外取締役	阿部 光伸
常勤監査役	稲葉 敏和
社外監査役	深山 徹
社外監査役	山本 千鶴子
執行役員	立野 智之
執行役員	柴崎 治

関係会社

連結子会社	オヅテクノ(株) 日本プラントシーダー(株) (株)ディプロ
	小津(上海)貿易有限公司 エンビロテックジャパン(株)
持分法適用関係会社	アズフィット(株) (株)旭小津



本資料に関するお問い合わせ

小津産業株式会社 経営企画室

Email : soumu@ozu.co.jp

<https://www.ozu.co.jp/>

本資料の取り扱いについて

- ・本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。